

(一社) 高知県水産資源管理機構の知事要望

1 日時：令和5年7月7日（金）15:30～

2 場所：第2応接室

3 出席者：

(一社) 高知県水産資源管理機構：吉村会長、川村専務理事、澳本理事、松本理事

高知県議会：三石議員、下村議員

高知県：濱田知事、松村水産振興部長、山下水産振興副部長、西山水産振興副部長、岩崎
土木部副部長、浜渦漁業管理課長ほか

4 概要：

(1) 要望

- 生物の住みやすい河川整備の推進等により河川環境の改善を図ること
 - ウナギの資源量推定や効果的な放流方法に係る調査研究を強化すること
 - 当機構が行う産卵に寄与する親ウナギの放流や河川環境の改善の取り組みを支援すること
 - 違法な採捕や流通について取り締まりを行うこと
 - うなぎ稚魚漁業許可における取扱いを以下のとおりとすること
- 【漁獲量の上限】 県内養殖業の養殖許可数量 【漁業時期】 1月1日から3月31日

(2) 回答

- 自然環境に配慮した工事を実施しており、引き続き、自然環境に配慮した工事の実施に努める。
- ウナギの来遊量と河川への定着量の調査に着手しており、ウナギ資源の管理に必要なデータの収集に努める。
- 関係者が資源回復の取り組みを進める意義深い活動であり、県としてもウナギの放流の支援を行っていく。
- 県警、海保との連携を強化し、取り締まりの強化を図る。
- 漁獲量上限と漁業時期については、関係者で話し合い調整していただいたものとして重く受け止める。関係者の意見も聞いて最終案を決定していく。